

社中学校講師が剣道大会で活躍



宮崎さん（前列中央）と社中学校剣道部のみなさん

社中学校講師の宮崎琢士さんが、8月に行われた「第54回全国教職員剣道大会」に県代表として出場されるなど、活躍されています。

小学校1年生から剣道を始め、現在四段という宮崎さん。大学時代には日本体育大学剣道部の一員として、全国大会で準優勝したほどの腕前です。今は、社中学校の保健体育講師として教鞭をとるほか、剣道部顧問として生徒の指導にあたっています。5月に行われた兵庫県教職員大会で優勝、全国への切符を手に入れました。

全国大会では、個人戦は惜しくも初戦敗退だったものの、団体戦では先鋒として2勝1分けの活躍をみせ、チームのベスト16入りに貢献されました。

宮崎さんは、「もっと稽古を重ね、全国優勝を目指す。また、生徒たちにも練習を通じて、礼節など、人として大切なところを伝えていければ」と力強く語られました。

ポイント&KO中国地区選抜 少年少女空手道選手権大会



拳武会館所属の選手が、大会で優秀な成績を収められました。なお、4人は、4月に東京都で開催される全国大会に出場が決定しました。

小学校2年女子部 準優勝 小寺もとこさん(新町)
小学校3年男子部 優勝 小寺 啓さん(新町)
小学校5年女子部 優勝 小寺里美さん(新町)
高校男子軽量の部 優勝 権藤由人さん(上滝野)

100歳をお祝いしました



10月15日に岸本ふみ子さん(新定)が満100歳を迎えられ、市からお祝いをお贈りしました。

病院通いも全くなく、自分のことは自分でされるという岸本さん。「この歳を元気で迎えて幸せ」と話されました。

これからもお元気で過ごしてください。

子どもたちに図書を



東条二十日会のみなさんから、東条東・西小学校の図書購入費用として、5万円を寄附いただきました。ありがとうございました。

ふるさと納税

辰住孝子さん(播磨町)から、現金1万円を寄附いただきました。ありがとうございました。

半世紀の歩みを祝福



11月17日、やしろ国際学習塾で「加東市金婚夫婦を祝う会」を開催。オープニング演奏、祝杯等に引き続き、スクリーンに約50年前の加東郡の映像が上映されると、会場からは歓声があがりました。

この会を通して、参加されたご夫婦はこれまでの歩みを振り返り、夫婦の絆を再確認されたようです。

加東の秋を満喫



11月3・4日、市役所社・滝野庁舎周辺で「加東市秋のフェスティバル」を開催しました。

会場では、特産品の展示販売や飲食ブース、菊花盆栽展、ステージイベント、魚釣り体験、キャラクターショーなど多彩な催しが繰り広げられ、来場者らはさまざまな加東の魅力を楽しめました。

～届け、被災地へのエール～ ひょうご加東市福祉と絆のつどい

東日本大震災復興支援イベント「ひょうご加東市福祉と絆のつどい」が、11月17日・18日に滝野文化会館周辺で開かれました。

会場には、気仙沼市やいわき市、女川町など、東北各地の特産物や観光グッズなどの復興支援物産市や、南三陸町の「かまぼこロッケ」、加東市の「伝の助うどん」や「加東オムライス」、近隣市のかつめし、ホルモン焼きそばなどの屋台が並び、各店とも行列ができるにぎわいでした。

また、報道では流れない被災地復興の経緯と現在を知ってもらおうと、南三陸町災害ボランティアセンター長・猪又隆弘さんによる「負けてたまるか!!震災との戦い」と題した講演会や、同町のピアノ講師・遠藤水華里さんによる社高校生との復興応援ソング「花は咲く」のコラボや震災体験談、被災地の被害と復興の写真展も開かれ、訪れた方々は「あの日のことを風化させてはならない」と大震災を再確認されていました。



文化の魅力に触れる一日



11月3・4日、滝野文化会館周辺で「加東市文化連盟祭」が開催されました。会場では、踊り、歌、楽器演奏などの芸能発表のほか、作品展、お茶席などが行われ、来場者らは芸術の秋を満喫されました。

秋空に響くフルートの調べ



11月7日から11日にかけて、東条文化会館コスミックホールで「第23回日本木管コンクール(フルート部門)」を開催。出場した101人が演奏

技術や表現力を競われました。

なお、今年度の第1位およびコスモス賞(聴衆賞)には、いずれも松木さやさん(千葉県・写真)が輝きました。

色とりどりのコスモス満開



市花のコスモスが満開となり、10月28日には河高地区、11月3日には揖鹿谷地区で「加東市コスモスマつり」が開かれました。

河高会場では、休耕田2.2ヘクタールでコスモスを栽培。当日はあいにくの雨となり、会場をにぎわいプラザに移して行われました。揖鹿谷会場

では好天に恵まれ、満開となった0.8ヘクタールの田んぼには、地元の家族連れらが次々に訪れ、コスモスを摘み取ったりするなど、楽しまれていました。

特産「山の芋」品評会を開催

10月25日、加東市特産の山の芋のできばえを競う「第35回東条山の芋坪堀共進会」がJ Aみのり東条営農経済センターで行われました。

今年の出品者は9農家。並べられた山の芋の形や色艶などの審査のほか、栽培された畑での「ほ場審査」が実施され、入賞者が選ばれました。

加西農業改良普及センター所長賞 田中静一さん(貞守)、加東市長賞 土肥喜房さん(大畑)、神戸新聞社賞 今川 司さん(少分谷)、全農兵庫県本部長賞 土肥眞悟さん(大畑)、みのり農業協同組合長賞 藤原仁司さん(秋津)



まちかど
トピックス

身近な話題など、お気軽にご連絡ください。
広報係がカメラを持って伺います。

☎43-0387